

ダイオキシン類分析結果

(平成29年度)

検体名	測定位置	単位	前期			後期			基準値	
			採取年月日	結果判明日	結果	採取年月日	結果判明日	結果		
焼却炉排ガス	1号炉	IDF手前 測定口	ng-TEQ/m ³ (N)	H29.7.25	H29.8.23	※ 0	H30.1.15	H30.2.7	※ 0	1
	2号炉		ng-TEQ/m ³ (N)	H29.7.25	H29.8.23	※ 0	H29.11.13	H29.12.14	※ 0	
	3号炉		ng-TEQ/m ³ (N)	H29.8.17	H29.9.20	※ 0	H30.1.15	H30.2.7	※ 0	
主灰	1号炉	灰出し コンベア	ng-TEQ/g	H29.7.25	H29.8.23	0.010	H30.1.15	H30.2.7	0.0050	3
	2号炉		ng-TEQ/g	H29.7.25	H29.8.23	0.0035	H29.11.13	H29.12.14	0.0032	
	3号炉		ng-TEQ/g	H29.8.17	H29.9.20	0.0031	H30.1.15	H30.2.7	0.0052	
飛灰	混合	飛灰貯留 ホッパー下	ng-TEQ/g	H29.7.25	H29.8.23	0.27	H30.1.15	H30.2.7	0.38	3
清掃センター 排水	下水道放流水	最終放流槽	pg-TEQ/L	H29.7.25	H29.8.25	0.55	H30.1.15	H30.2.7	1.5	10
最終処分場 浸出水/放流水	小松原 浸出水	調整槽手前	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.054	H29.12.12	H30.1.17	0.099	-
	天狗沢 浸出水	調整槽	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.00033	H29.12.12	H30.1.17	0.00036	-
	天狗沢 放流水	処理施設 放流水槽	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	※ 0	H29.12.12	H30.1.17	0.030	10
最終処分場 周辺河川	滝分沢	上流	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.069	H29.12.12	H30.1.17	0.063	1 (環境基 準)
		下流	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.11	H29.12.12	H30.1.17	0.18	
	天狗沢	上流	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.32	H29.12.12	H30.1.17	0.085	
		中流	pg-TEQ/L	H29.7.26	H29.8.25	0.69	H29.12.12	H30.1.17	0.068	

※ 結果の“0”とは、ダイオキシン類29物質全てが定量下限値未満であったことを示し、JIS規格に基づき“0”と表記します。

長野市清掃センター

※ 毒性等価係数(TEF) : WHO/IPCS(2006)適用

※ “定量下限値未満”とは、物質を正確に測ることができる最小値より、測定値が少なかったことを示します。

現在、毒性があると判断されているダイオキシン類は29種類ですが、毒性の強さはそれぞれ異なります。

そのため、ダイオキシン類としての全体の毒性評価にあたり、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性を1として他のダイオキシン類の毒性の強さを換算した係数が用いられています。

ダイオキシン類濃度のTEQ換算は、個々のダイオキシン類濃度にそれぞれの毒性を乗じた値を足し合わせて表わしています。

※ TEQ(毒性当量) : 異性体によって異なるダイオキシン類の毒性を 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-1,4-ジオキシン (2,3,7,8-TCDD) に置き換えて示すもの。

※ ng(ナノグラム) : 10億分の1グラム、pg(ピコグラム) : 1兆分の1グラム

長野市清掃センター